キャラクター名

にいな

プレイヤー名

ポジション	コート	**享年**	11歳
メインクラス	ステーシー	**暗示**	渇望
サブクラス	ゴシック	**寵愛点**	14

初期配置	煉獄
最大行動値	11

能力値	クラス	修正	合計
武装	1	0	1
変異	2	1	3
改造	1	0	1

記憶のカケラ	内容
18.切り傷	家事の途中、ほんの少し刃物や針で指を傷つけた記憶。あなたは、少しだけ出た血で泣いて、大騒ぎした。今のあなたは、そんなかすり傷なんてかすむほどに、バラバラになってしまうことさえあって…。
89.迷子	はぐれてしまって一人きり。何もわからず、泣きながら彷徨った。知らない道、知らない場所。そこは暗闇と同じで。
【最高傑作】	私の目的には今日だけの見識が重なっている。中にいるアンデッドは、私が作成した最高傑作。私はネクロマンサーであり、彼女はアンデッド。彼女の価値は全て我々の認識。さて、私の角にうずたかくそびえたつ。そして、私の角にたった数の問題。今日はどのようにしてこのドアを開いたか。
【進展】	物語には始まりがあり、そして終わりがある。けれども、その道には様々な世界が広がっているだろう。私と彼女の間にももちろん、いろいろあるべきだろう。なぜなら、私も彼女も最高なのだから。
【山】	物語にはすべて始まりがあり終わりがある。そして、よい物語には主役となる山場があるべきだ。彼女の物語の山場も、もちろん用意してある。なぜなら、これは最高の物語で、私自身も最高であるからだ。
【最後の日】	物語はどのように素晴らしく終わるかは、その最後の瞬間が決めると言っても過言ではない。私は彼女の為に最高の物語を書き上げ、そして提供した。さて、果たして彼女は物語を気に入ってくれるだろうか。
【バトル】	最高のアンデッドには、最高の舞台を用意しなければ失礼に当たるというものだろう。もちろん、用意してある。彼女に適切な最高の手勢を。ああ、楽しみだ。早く彼女が血の海を舞う姿が見てみたい。

未練

対象	種類	狂気点		発狂時ペナルティ
たからもの	依存	3	①②③④⑤	パーツとして所持。破壊で狂気点+1
オルトリア	嫌悪	3	①②③④⑤	
		3	①②③④⑤	
		3	①②③④⑤	
		0	①②③④⑤	
		0	①②③④⑤	

マニューバ

タイプ	損傷	名前	使用	タイミング	コスト	射程	効果
ポジション		作戦		オート	無	効果	BP開始時、敵配置を見てから、味方のドール1体の配置を「奈落」以外に変更可
メインクラス		庇う		ダメージ	0	0-1	対象が受けたダメージを、代わりに自身が受ける。1ターンに何度でも使用可
メインクラス		肉の盾		ダメージ	0	0-1	ダメージに付随する効果全て（切断や連撃、全体攻撃など）を打ち消す
サブクラス		肉の宴		アクション	1	自身	損傷した基本パーツ１つを修復
サブクラス				オート			
頭		のうみそ		オート	無	自身	最大行動値+2
頭		めだま		オート	無	自身	最大行動値+1
頭		あご		アクション	2	0	肉弾攻撃１
頭		カンフー		オート	無	自身	最大行動値+1
頭		つめたいひかり		アクション	1	自身	ターンの終了、又はこのパーツの損傷まで、ホラー・レギオンは自分以外を対象とした攻撃判定に-1の修正を受ける（この修正は累積しない）
頭				オート			
腕		こぶし		アクション	2	0	肉弾攻撃１
腕		うで		ジャッジ	1	0	支援１
腕		かた		アクション	4	自身	移動１
腕		オルトリアの写真		オート			
腕				オート			
胴		せぼね		アクション	1	自身	次カウントで使うマニューバ１つのコスト-1
胴		はらわた		オート			
胴		はらわた		オート			
胴		しんぞう		オート	無	自身	最大行動値+1
胴		かめれおん		アクション	2	自身	ターン終了、又は攻撃マニューバの使用宣言をするまで、自身は敵ホラー・レギオンのマニューバ対象にならない
胴		アーマースキン		ダメージ	0	自身	防御1
		たからもの		オート	無	なし	ガラス玉
胴				オート			
脚		ほね		アクション	3	自身	移動１
脚		ほね		アクション	3	自身	移動１
脚		あし		ジャッジ	1	0	妨害１